

第3回 すべての女性が輝く社会づくり本部 議事要旨

日 時：平成27年9月25日（金） 8:05～8:15

場 所：官邸

出席者：すべての女性が輝く社会づくり本部本部長、副本部長、本部長（別紙参照）

有村女性活躍担当大臣から、最初に、「安倍内閣のこれまでの女性活躍の取組」について、この2年半で女性活躍は力強い歩みを進めており、国民、国際機関、投資家や報道機関など国際社会から大きな注目を集めていること、機運が高まっている今こそ、内閣を挙げて、更に取り組を加速すべきとの説明があった。

続いて、有村女性活躍担当大臣から、「女性の職業生活における活躍の推進に関する基本方針案」について説明し、厚生労働大臣と連携して事業主への周知徹底や行動計画の策定サポートに万全を期すことを述べるとともに、各閣僚に対し所管分野の企業における行動計画策定の推進や各省庁の長としての行動計画の策定について協力を依頼した。塩崎厚生労働大臣から、以下の発言があった。その後、案のとおり了承され、閣議に諮られることとなった。

・今年度中に義務対象となる事業主が着実に行動計画策定等を終わることができるよう、現在、厚生労働省においては、労使等の関係者と、民間部門に係る制度の詳細設計について調整を行っている。行動計画策定等の義務は、企業のみならず、独立行政法人や公益法人、学校法人など、301人以上の従業員がいるすべての法人が対象になる。他の閣僚も、是非、御担当の分野において女性の活躍が大きく前進するよう、引き続きの御理解と御協力をお願いする。（塩崎厚生労働大臣）

続いて、岸田外務大臣から、先日行われた「WAW! 2015」の報告とあわせ、「伊勢・志摩サミットにおける女性のアジェンダの推進」として、本年のエルマウ・サミットでも取り上げられた女性のアジェンダについて、来年 G7 の議長国である我が国としてしっかり取り組んでいく旨の発言があった。

有村女性活躍担当大臣から、あらゆる分野に女性活躍という観点を入れる、すなわち、女性活躍を主流化することで、当事者の安全・安定を確保し、自己実現を支援するとともに、多様な価値観や新たな視点が活かされ、全ての人に優しい、活力ある社会を実現することができることから、伊勢・志摩サミットにおける10の閣僚会議において女性活躍を議題の一つに加えることで、領域や分野を超えて国際的に女性活躍を前進させることができると述べた。また、「女性活躍加速のための重点方針2015」に基づく施策の着実な実行について各閣僚に協力を依頼した。

最後に、安倍内閣総理大臣から、以下の発言があった。

- ・各閣僚においては、「女性活躍推進法」に基づき予定通り来年4月から事業主行動計画に基づく取組が実施されるよう、所管分野の企業における行動計画策定を推進し、併せて、日本全域で働き方改革を推し進める取組を積極的に支援してほしい。
- ・それぞれの府省において、女性職員の採用・登用の拡大、働き方の見直し等積極的な取組をお願いする。
- ・G7伊勢志摩サミットで女性のアジェンダを強力に推し進めていく。そのため、関係閣僚においても、来年のG7関係閣僚会合で女性の活躍推進に資する議論を行うことを検討してほしい。その成果を、何らかの形で首脳会合につなげていきたい。

以上

すべての女性が輝く社会づくり本部 名簿

本部長	安倍 晋三	内閣総理大臣
副本部長	菅 義偉	内閣官房長官、沖縄基地負担軽減担当
	有村 治子	女性活躍担当大臣、行政改革担当、国家公務員制度担当、内閣府特命担当大臣（少子化対策、規制改革、男女共同参画）
本部員	麻生 太郎	財務大臣、内閣府特命担当大臣（金融）、デフレ脱却担当
	高市 早苗	総務大臣
	上川 陽子	法務大臣
	岸田 文雄	外務大臣
	下村 博文	文部科学大臣、教育再生担当
	塩崎 恭久	厚生労働大臣
	林 芳正	農林水産大臣
	宮沢 洋一	経済産業大臣、産業競争力担当、原子力経済被害担当、内閣府特命担当大臣（原子力損害賠償・廃炉等支援機構）
	太田 昭宏	国土交通大臣、水循環政策担当
	望月 義夫	環境大臣、内閣府特命担当大臣（原子力防災）
	中谷 元	防衛大臣、安全保障法制担当
	竹下 亘	復興大臣、福島原発事故再生総括担当
	山谷えり子	国家公安委員会委員長、拉致問題担当、海洋政策・領土問題担当、国土強靱化担当、内閣府特命担当大臣（防災）
	山口 俊一	内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策、消費者及び食品安全、科学技術政策、宇宙政策）、情報通信技術（IT）政策担当、再チャレンジ担当、クールジャパン戦略担当
	甘利 明	経済再生担当、社会保障・税一体改革担当、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）
	石破 茂	地方創生担当、内閣府特命担当大臣（国家戦略特別区域）
	遠藤 利明	東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当